

## 第6学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう（光村6年下）
- 2 教材名 「平和のとりでを築く」  
「自分の考えを発信しよう」

### 3 単元について

#### (1) 教材や指導価値について

本単元は、「平和」に関する説明文教材を読み、筆者の考えをとらえ自分の考えをもつこと、必要な材料を集めて自分の考えを文章にまとめること、それを発信することをねらいとしている。

第1教材「平和のとりでを築く」は、メッセージ性の強い題名で読み手に問題意識をもたせ、分かりやすい構成（筆者の思い 原爆ドームがたどった歴史 世界遺産への道のり まとめ：筆者が訴えたいこと）になっている。第2教材「自分の考えを発信しよう」は、「平和」に関する多様な材料を集め、自分の考えを組み立て、文章に書いて発信する内容となっている。

本単元では、未来を担う一員である6年生に、戦争の対極にある「平和」だけではなく、自分たちの日常生活と関わる「平和」についても考えさせたい。平和を願う筆者の考えを丁寧に読み取らせるとともに、「平和」に対する自分なりの考えをもち発信することは、児童にとって非常に意義深い学習であると考えられる。

#### (2) 児童の実態

児童は、「読むこと」の学習として、「生き物はつながりの中に」では、文末表現や文章構成に着目しながら筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつという学習を行った。この学習を通して、筆者の考えをとらえるために、文末表現や文章構成を手がかりとして具体的な事例と筆者の考えを押さえ、要旨をまとめたり、筆者の考えに対する自分の考えをもったりしながら読むことができるようになってきている。しかし、筆者の考えに対する自分の考えを、友達と積極的に交流し合い、自分の考えとの相違点や共通点を見いだす学習には、まだ慣れていない。

また、「書くこと」の学習として、「ガイドブックを作ろう」では、読み手が関心をもち、実際に役立つように構成や内容を工夫したガイドブックを作って交流する学習を行った。この学習を通して、相手意識・目的意識をはっきりもち、目次作りを利用して書く必要のある事柄を収集・整理し、分かりやすい構成を考えながら書いたり、地図や絵・文章などの配置や書き方を工夫して書いたりする児童が増えてきている。しかし、自分の意見を他者に伝えるために文章を整理し、分かりやすく書くことができる児童はまだそう多くない。意見を支えるための事例が弱かったり、思考を整理できないままに書き進んだりする児童もいる。

#### (3) 指導の構想

指導にあたっては、読みの課題を明確にもたせた上で具体的な事例を正確に読み取らせ、文章構成に着目して筆者の伝えたいことをとらえさせる。それに対して自分はどう考えるかを文章にまとめ交流させることで、考えを深めさせたい。

自分の考えを発信する段階では、「平和のとりでを築く」の学習を生かし、「平和」に関連して調べたいことや自分たち自身の身近な問題として考えられる「平和」について話し合い、児童が主体的に自分の考えを発信しようとするような活動への意欲付けを図りたい。書くことが苦手な児童でも自分の考えを十分に書き表すことができるように、構成表を工夫し意見と事例を整理しながら書かせるようにする。また、効果的な表現方法や接続語にも気をつけて、読み手に分かりやすい意見文を書くことができるような手立てを取りたい。

#### 4 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心 ・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平和のとりでを築く」を読んで筆者の考えをとらえ、自分なりの考えをもとうとする。</li> <li>自分が考える「平和」について発信しようと、必要な情報を集め、文章にまとめ、交流しようとする意欲をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平和のとりでを築く」を読んで筆者の考えをとらえて関心をもち、自分なりの考えをもとうとしている。</li> <li>自分が考える「平和」について発信しようと、必要な情報を集め、文章にまとめようとしている。</li> </ul>
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平和のとりでを築く」の叙述に沿って内容をとらえ、筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつことができる。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書かれている内容について、事象と筆者の意見・訴えたいこととの関係を押さえ、自分の考えをもちながら読んでいる。</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を集めて自分の考えをまとめ、事実と意見を区別し、効果的な文章の組み立てを考えて書くことができる。(ウ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを明確に表現するために、事実と意見を区別し、文章全体の組み立てを考えて書いている。</li> </ul>
言語についての知識・理解 ・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な文章構成を理解することができる。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文を書く際に、自分の目的や意図に応じた構成を活用している。</li> </ul>

#### 5 単元指導計画 ( 15時間 )

- ( 1 ) 学習の見通しをもつ。 ----- ( 1 )
- ・単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 ----- 1
- ( 2 ) 文章を読み、筆者の伝えたいことを考える。 ----- ( 6 )
- ・題名と第一段落から読みの課題を共通認識し、全文を読む。 ----- 1
  - ・全文を読み通して、課題に対する自分の読みをまとめる。 ----- 3
  - ・筆者の伝えたいことについて書きまとめる。 ----- 1
  - ・自分の読みを見直し、筆者の伝えたいことに対しての考えをまとめる。 ----- 1 ( 1校時 )
- ( 3 ) 自分の考えを発信する ----- ( 7 )
- ・自分の考えを発信するため、計画を立て、見通しをもつ。 ----- 1
  - ・現在の時点で考えていることを「仮の要旨」としてまとめ、それに説得力をもたせる材料を集める。 ----- 2
  - ・集めた材料をもとに、「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ直す。 ----- 1
  - ・自分の考えを書きまとめる。 ----- 2 ( 2校時 1 / 2 )
  - ・自分の考えを発信する。 ----- 1
- ( 4 ) 学習のまとめをする ----- ( 1 )
- ・この単元での学習を振り返る。 ----- 1

6 本時の指導について

(1) 本時の目標

筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

自分の読みを見直し、筆者の伝えたいことに対しての考えをまとめている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	<p>1 前時の学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13段落を音読し、前時に学習した筆者の伝えたいことを確かめる。</li> <li>自分の考えがこれまでと比べ、深まったり、広まったりすればよいことを確認し、本時への課題意識を高める。</li> </ul>	学習課題をとらえている。(観察)
筆者の伝えたいことについて、自分の考えをまとめよう。			
展開 (35分)	<p>3 自分の読みを見直しながら、筆者の伝えたいことについてまとめる。</p> <p>(1) グループでお互いの読みを聞き合い、筆者の伝えたいことについて話し合う。</p> <p>(2) グループで話し合われたものを全体で発表する。</p> <p>4 筆者の伝えたいことに対して、自分はどうか考えるか書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の読みを参考に、自分の読みを見直し、読みの深まりを実感させる。</li> <li>それぞれの考えの根拠となった文章中の言葉について、つながりや関連を全体で確認する。</li> <li>筆者の伝えたいことを一つに集約する話し合いではなく、いろいろな考えや根拠となる言葉が出されるようにする。</li> <li>書き進めるための視点を与え、自分の感じ方・考え方をまとめられるようにする。</li> <li>これまでに書いてきた「筆者の伝えたいことについての自分の考え」を見ながら、学習を通して、自分の考えが深まったり広まったりしてきていることを感じられるようにする。</li> </ul>	<p>これまでの自分の読みに新たなものが加わっている。(ワークシート)</p> <p>具体的評価規準</p> <p>(A) 根拠を明らかにしながら、自分の感じ方・考え方を書きまとめている。</p> <p>(B) 自分の感じ方・考え方を書きまとめている。</p> <p>(Cへの支援) 与えた視点を絞り、書き出しを助言する。</p>
終末 (5分)	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードに自己評価させる。</li> <li>「平和」について自分の考えを発信していくことを確かめる。</li> </ul>	観点に基づき自己評価している。(カード)

6 本時の指導について

(1) 本時の目標

事実と意見を区別し、効果的な文章の組み立てを考えて書くことができる。

(2) 本時の評価規準

事実と意見を区別し、文章の組み立てを工夫して書いている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導入 (3分)	1 前時までの学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自分の考えが読者に明確に伝わるように書こう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な構成について考えたことを確認する。</li> <li>学級で意見文の発表会をすることについて、本時への課題意識を高めていく。</li> </ul>	学習課題をとらえている。(観察)
展開 (38分)	3 例文をもとに、意見文の書き方を考える。  4 意見文を書く。 (1) 書き出しを書く。  (2) 続きを書く。  (3) 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実を伝える文と意見を伝える文の文末表現について確認する。</li> <li>段落相互の関係を考え、接続語や指示語を使うことを確認する。</li> <li>資料の丸写しにならないように、必要な部分を選び、分かりやすく書くようにさせる。</li> <li>文末表現をそろえる。(常体・敬体)</li> <li>出されたポイントをもとに意見文を書く。</li> <li>書けない児童のために、参考になるような発表をさせる。</li> <li>書き終わった児童は推敲する。</li> <li>事実と意見を区別した意見文を発表させる。</li> </ul>	意見文の書き方を考えている。(発表・観察)  具体的評価規準 (A) 事実と意見を区別し、文章構成を工夫して書いている。 (B) 事実と意見を区別して書いている。 (Cへの支援) 構成メモを生かして、段落ごとの書き出しを助言する。
終末 (4分)	5 本時の学習を振り返る。  6 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードに自己評価させる。</li> <li>推敲し、意見文を完成させることを知らせる。</li> </ul>	観点に基づき自己評価している。